

高病原性鳥インフルエンザ発生農場における防疫措置の完了について(2004.1.21)

1月12日に山口県阿武郡阿東町で発生した、高病原性鳥インフルエンザ発生農場の防疫措置については、1月21日をもって以下のとおり完了しました。

- ・埋却溝への死亡鶏及び殺処分鶏、飼料等の埋却処分完了
- ・鶏舎、車両、器材等の消毒完了

以上、発生農場での防疫措置について、完了の検査・確認の旨が山口県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部長(農林部長)に現地対策本部長より報告され、16:40分当該農場に対する防疫措置は全て完了しました。

なお、周辺養鶏場の鶏卵・ブロイラー等の移動禁止制限措置、飼料配送車両の消毒等各防疫措置については継続されています。

【対応経過】

- ・1月12日:山口県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部・現地対策本部の設置
半径30Km以内の移動制限
- ・1月13日:発生農場の鶏舎消毒及び殺処分の開始
県下養鶏農家の全戸立入検査開始
- ・1月14日:発生農場の鶏舎消毒及び殺処分の継続
- ・1月15日:発生農場の鶏舎消毒及び殺処分の継続
- ・1月16日:殺処分の終了:19,655羽
第1埋却溝の設置
- ・1月17日:死亡鶏の埋設処理
- ・1月18日:飼料・鶏糞の埋設処理
- ・1月19日:第1埋却溝の仮埋設
第2埋却溝の設置
- ・1月20日:第1埋却溝の埋め戻し
第2埋却溝の仮埋設
鶏舎等の消毒
- ・1月21日:第2埋却溝の埋め戻し
鶏舎、車両、器材等の消毒
発生農場防疫対策の完了(現地対策本部長より検査、確認)

【埋却物品】

- ・死亡及び殺処分鶏:フレコンバック 85個(34,640羽)
- ・鶏 卵 : 28個
- ・飼 料 : " 94個
- ・堆肥及び鶏糞 : " 470個
- ・その他の汚染物品: " 11個